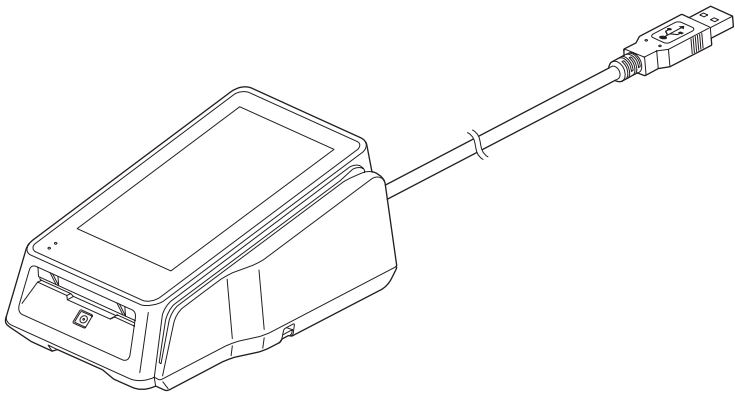


# Panasonic®

## 取扱説明書<準備編>

### 据置型決済端末

品番 JT-VC10シリーズ



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～6ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

# はじめに

---

## ■ 本書について

本書は、据置型決済端末（JT-VC10シリーズ）の基本的な取り扱いについて説明しています。

- 本機では、カードやバーコードなどの読み取り操作をお客様が行います。  
カードやバーコードの読み取り操作のしかたをお客様に説明してください。
- 本書のイラストは実際と異なる場合があります。また、アプリが自動的に更新されるなどにより、記載されている内容と差異が生じる場合があります。
- 本書の内容は、予告なく変更することがあります。
- 別売品の最新情報につきましては、購入先にお問い合わせください。
- 本機は、据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）と接続して使用します。本機をご使用になるときは、据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）取扱説明書＜準備編＞をあわせてご参照ください。
- 本機の設定を行うときは、取扱説明書＜端末設定編＞をご参照ください。  
決済業務などの操作方法につきましては、該当する業務の取扱説明書をご参照ください。

- |                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 本製品は、日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。</li></ul> |
|--------------------------------------------------------------------------------------|

# もくじ

---



|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 安全上のご注意 .....               | 4  |
| 使用上のお願い .....               | 7  |
| 法規情報 .....                  | 9  |
| 商標・ライセンス .....              | 10 |
| 本体と付属品の確認 .....             | 11 |
| 各部の名称と働き .....              | 12 |
| 各部の接続方法 .....               | 14 |
| 磁気カードの読み取り .....            | 20 |
| 接触型 IC カードの読み取り .....       | 21 |
| 非接触型 IC カードの読み取り／書き込み ..... | 22 |
| バーコードの読み取り .....            | 23 |
| 本機の動かしかたについて .....          | 24 |
| 困ったときには .....               | 25 |
| 仕様 .....                    | 27 |

# 安全上のご注意

必ずお守りください






人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

|                                                                                             |                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
|  <b>警告</b> | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。            |
|  <b>注意</b> | 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

|                                                                                                |                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  してはいけない内容です。 |  実行しなければならない内容です。 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                              |                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <b>警告</b>  |                                                                                                                        |
| <br>分解禁止    | <b>分解や修理、改造をしない</b><br>ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。                                                                       |
| <br>禁止     | <b>異物を入れない</b><br>ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。                                                                            |
| <br>水ぬれ禁止 | <b>水をかけたり、ぬらしたりしない</b><br>ショート・発熱・発火により、火災・感電・けがの原因になります。<br>● ぬれた場合は、直ちにUSBケーブルを据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）から抜いて購入先にご相談ください。 |
| <br>接触禁止  | <b>雷が鳴り始めたら、本機やUSBケーブルに触れない</b><br>感電の原因になります。                                                                         |

## 安全上のご注意


**警告**
**異常・故障時には直ちに使用をやめる**

異常が起きたら直ちにUSBケーブルを据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）から抜く

- 破損した
- 内部に水や異物が入った
- 煙が出ている
- 異常なおいや音がする
- 異常に熱い

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 直ちにUSBケーブルを据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）から抜き、修理について購入先にご相談ください。

**医療機関の屋内では次のことを守って本機を使用する**

- 病棟内では、使用しない
- ロビーなどであっても付近に医用機器がある場合は、使用しない
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

**植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から本機を15 cm 以上離す**

電波によりペースメーカーおよび除細動器の作動に影響を与える場合があります。



禁止

**高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しない**

本機からの電波が電子機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知機、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者にご確認ください。

## 安全上のご注意

 **注意**

禁止

**湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所には置かない**  
内部に異物が入ると、火災・感電の原因になることがあります。



禁止

**高温の場所に置かない**  
調理台、熱器具のそばや直射日光の当たる場所など極端に高温になる場所に置くと、外装ケースの変形や、内部部品の故障・劣化を引き起こすことがあります。そのような状態での使用は、ショートや絶縁不良による火災・感電の原因になることがあります。



禁止

**不安定な場所に置かない**  
落下して、けがの原因になることがあります。



禁止

**カメラのレンズに直射日光などを長時間当てない**  
レンズの集光作用により、火災・やけど・けがの原因になることがあります。



**必ず指定の製品<sup>\*</sup>で使用する**  
指定以外の製品で使用すると、火災の原因になることがあります。  
※使用できる製品については、購入先にお問い合わせください。



**ディスプレイが破損した場合、割れたガラスやむき出しになった内部、もれた内部の物質には触れないように注意する**  
けがの原因になることがあります。  
また、内部の物質が皮膚や衣服に付着すると目や皮膚への傷害を起こす原因になります。  
こすらずすぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

# 使用上のお願い

本製品を正しくご使用いただくために、次の点をお守りください。

## お願い

- 暗証番号やカード情報の漏えい、悪用を防ぐため、日々のご使用の前に、本機に分解または改造された形跡がないか確認してください。異変がある場合は使用せず、購入先にお問い合わせください。

## ■ 本機について

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。故障、破損の原因になります。
- ディスプレイ上に物を置いたり、先のとがったもので押さえつけたりしないでください。ディスプレイの表面に傷がつく原因になります。
- 静電気の起きやすい場所（じゅうたんを使用しているところなど）や、テレビ・ラジオなどの磁気を発生する機器の近くには置かないでください。誤動作・故障の原因になります。
- 本機と据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）は、5 cm以上離して設置してください。据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）に内蔵されているアンテナが影響を受け、通信が不安定になる場合があります。
- 本機、ケーブルなどの故障を防ぐため、下記の記載事項をお守りください。
  - ・ コネクターの形状、向きに注意して正しく接続してください。
  - ・ 接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認してください。
- USBケーブルのコネクタに、ほこりや油などを付着させないでください。また、傷をつけないでください。
- 本機は動作に必要な重要データを内蔵電池でバックアップしています。内蔵電池が消耗すると、重要データが消失して本機が動作しなくなります。内蔵電池を消耗させないために、できるだけコンセントに接続した据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）にUSBケーブルを接続してください。

## 使用上のお願い

---

### ■ 操作環境・使用場所について

- 本機は防水／防じん性能を有しておりません。水などの液体をかけたり、ぬらしたりしないでください。また、湿気、砂、ほこりの多い場所でのご使用はおやめください。
- 屋内（一般店舗内の環境）で使用してください。
- 強い電磁波のあるところから離して使用してください。  
（例）電子レンジ、無線機、トランシーバー、磁石、万引き防止装置、高圧線、自動ドア、通信用アンテナ、タグ解除機など
- 磁気カードの読み取り操作を妨げるような場所に置かないでください。
- 寒い場所から暖かい場所へ移すと結露することがあります。結露した場合は、付着した水滴が蒸発するまで本機の使用を控えてください。

### ■ お手入れについて

- お手入れの際は、必ず据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）の電源を切ってください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。
  - ・ ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、本体表面に影響を与えおそれがありますので使用しないでください。
  - ・ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

### ■ 暗証番号の入力方法について（お客様にお伝えください）

- 暗証番号の漏えい、悪用を防ぐため、以下のことをお守りください。
  - ・ 必ずお客様に入力していただいでください。
  - ・ 周りの人に見られたり、監視カメラに映ったりしないように、手や体で隠すようにして入力していただいでください。
- 暗証番号の入力ミスを防ぐため、入力音や画面表示を確認しながら確実に入力していただいでください。



# 法規情報

本機の子接触型ICカードリーダー／ライター機能は、周波数13.56 MHzの誘導電波を使用しています。

周囲で他の非接触型ICカードリーダー／ライターなどをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

本機は、総務省の型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。

本機を改造または型式指定番号が記載された銘板をはがした状態で使用すると電波法に抵触するため、その設備は絶対に使用しないでください。

なお、型式指定番号は以下をご参照ください。

| 機種名 (型式名称) | 指定番号       |
|------------|------------|
| JT-VC10J-1 | 第AC-21080号 |

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

# 商標・ライセンス

- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

- 本製品には、GNU General Public License (GPL), GNU Lesser General Public License (LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェア及びGPL、LGPL以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL、LGPLまたはソースコードの開示義務その他の条件に従い、複製、頒布及び改変することができます。本製品の引渡から少なくとも3年間、パナソニック コネクト株式会社は以下の問い合わせ先にお問い合わせされた方に、配布に要する実費をご負担頂くことを条件として、機器による読取が可能なGPL / LGPLが適用されるソースコードの複製物またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応するソースコードの複製物を提供いたします。

<お問い合わせ先>

oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

当該ソフトウェアに関する詳細 (GPL / LGPLの各ライセンス文含む) は、据置型業務端末 (JT-VT10シリーズ) のホーム画面で [設定] → [タブレット情報] → [法的情報] の手順で確認することができます。(→取扱説明書<端末設定編> [画面・アイコンの説明])

- This product includes the Independent JPEG Group's software. This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- This product includes other free software or open source software.
- For more details on the relevant software (including license information), refer to the information displayed on the following screen: JT-VT10 series home screen → [設定] → [タブレット情報] → [法的情報] .

# 本体と付属品の確認

---

- 万一、足りない場合は購入先にお問い合わせください。
- 機種により、付属品が異なる場合があります。詳しくは購入先にお問い合わせください。

## ■ 本体×1

## ■ 安全上のご注意×1

### <別売品>

- 購入については、購入先にお問い合わせください。

## ■ 盗難防止ワイヤー (JT-R700CC-W1)

(→15ページ)

## ■ 電子サイン用スタイラスペン (JT-C60ZSP-10)

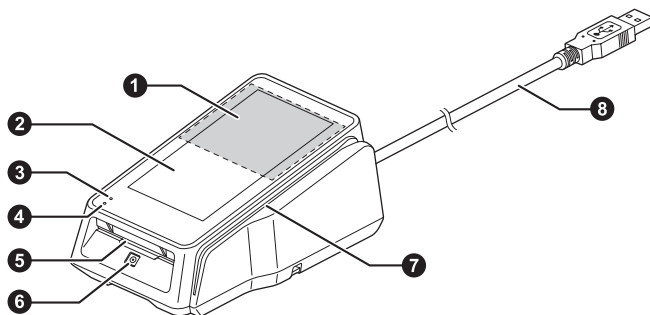
(→16ページ)

## ■ PIN入力補助シート (JT-VZPS10-10)

(→17ページ)

# 各部の名称と働き

## ■上面



### ① 非接触型ICカードかざし部

### ② ディスプレイ（タッチパネル）

お客様側で操作します。

- 保護シートが貼られている場合は、はがしてから使用してください。保護シートをはがしにくい場合は、保護シートの角の部分にセロハンテープなどを貼り、セロハンテープごとゆっくりとはがしてください。

### ③ 給電表示ランプ

緑点灯：据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）から給電中  
消灯：給電なし

### ④ 動作表示ランプ

緑点灯：カード待機中／カード処理中  
緑点滅：タンパー検出

### ⑤ 接触型ICカード挿入口

### ⑥ カメラ

バーコードまたはQRコードを読み取ります。

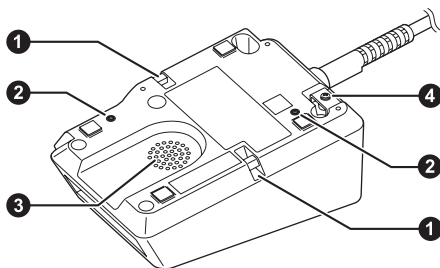
### ⑦ 磁気カードリーダー

### ⑧ USBケーブル

据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）に接続します。

## 各部の名称と働き

### ■底面



#### ① ケーブル取り付け穴

スタイラスペン用ケーブルなどを取り付けます。

#### ② 設置用ネジ穴

本体を固定するときに使用します。

- ネジ  
呼び径：M3  
はめあい長さ：3 mm ~ 4.5 mm
- 締め付けトルク値：  
0.4 N・m ~ 0.6 N・m

#### ③ スピーカー

#### ④ 盗難防止ワイヤー取り付け部 (→15ページ)

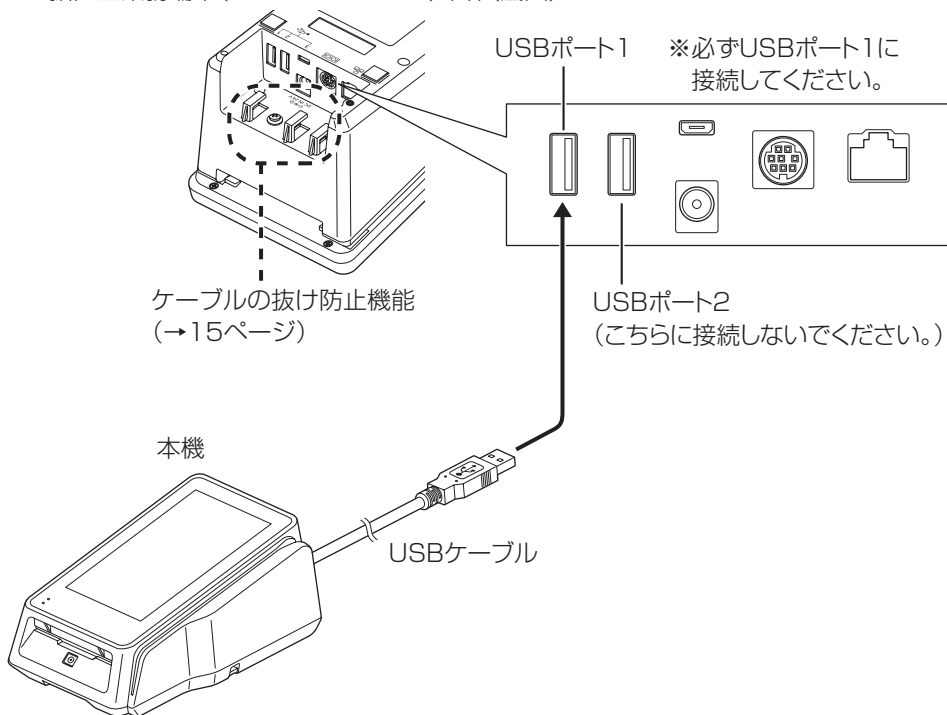
# 各部の接続方法

USBケーブルや盗難防止ワイヤーを接続するときは、平らな場所に柔らかい布などを敷いて作業してください。また、本体の下に異物がないことを確認してください。盗難防止ワイヤーを接続してから、USBケーブルの接続を行ってください。

## ■ケーブルの接続

- USBケーブルの接続は、据置型業務端末 (JT-VT10シリーズ) の電源を切った状態で行ってください。

据置型業務端末 (JT-VT10シリーズ) 本体 (底面)



## ◆お願い

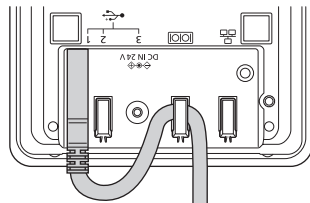
- USBケーブルのコネクターには向きがあります。向きをよく確かめて挿し込んでください。接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状や向きなどを確認してください。
- 据置型業務端末 (JT-VT10シリーズ) に接続している AC アダプターは、本機から 10 cm 以上離してください。磁気カードリーダーが誤動作するおそれがあります。
- 本機の USB ケーブルに、USB 延長ケーブルを接続しないでください。誤動作するおそれがあります。

## 各部の接続方法

### ■ケーブルの抜け防止機能

USBケーブルは、引っ張られると本体から抜けてしまいます。

このため、ケーブルが抜けないように、図を参考にしてケーブルをフックにかけてください。



据置型業務端末(JT-VT10シリーズ)本体(底面)

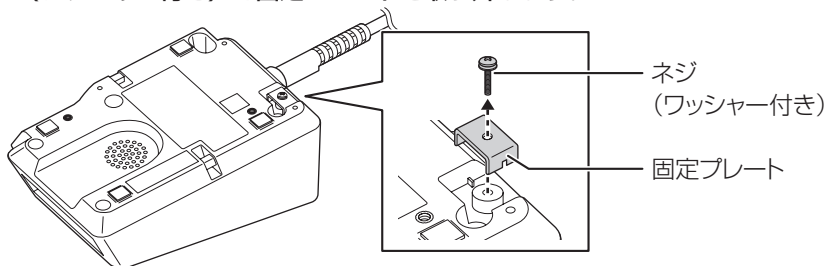
### ◆お願い

- USBケーブルを無理に折り曲げたり、強く引っ張ったりしないでください。断線したりする場合があります。
- USBケーブルを結束バンドなどで強く固定したり、束ねたりしないでください。

### ■盗難防止ワイヤー（別売品）の取り付け

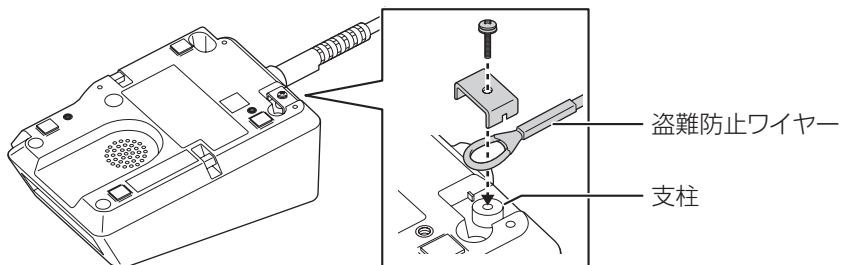
盗難や紛失を防ぐために、盗難防止ワイヤーの使用を推奨します。

1. プラスドライバー（サイズ1番）でネジ（ワッシャー付き）を緩めて、ネジ（ワッシャー付き）と固定プレートを取り外します。



2. 盗難防止ワイヤーを支柱にかけて、固定プレートを取り付け、ネジ（ワッシャー付き）を締めて固定します。

- 締め付けトルク値：0.25 N・m～0.45 N・m



## 各部の接続方法

### ■電子サイン用スタイラスペン（別売品）について

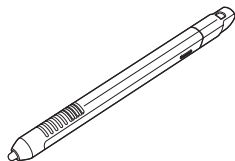
スタイラスペンでディスプレイに触れて、電子サインなどをすることができます。スタイラスペンを使うときは、据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）でスタイラスペン設定を有効にしてください。

（→取扱説明書〈端末設定編〉「ディスプレイ設定」）

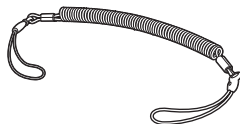
- 電子サイン用スタイラスペンは消耗品です。

#### 構成品

スタイラスペン

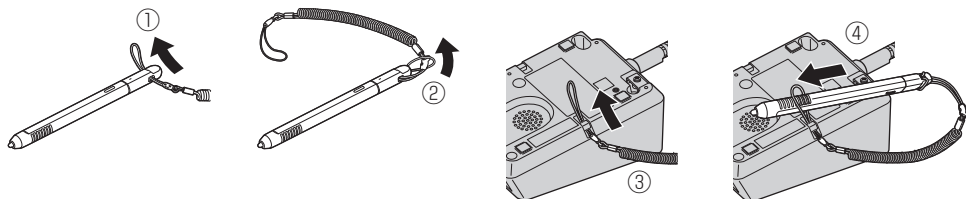


ペン用ケーブル



#### 取り付けかた

ペン用ケーブルを使って、本体のケーブル取り付け穴に取り付けてください。ケーブル取り付け穴は左右の2か所にあります。ご使用環境にあわせて取り付けてください。



#### ◆お願い

- ペン用ケーブルを強く引っ張らないでください。スタイラスペンを離したときに、本体や人などに当たることがあります。
- スタイラスペンは、電子サイン以外の用途に使わないでください。別の用途に使うと、スタイラスペンが故障したり、ディスプレイに傷をつけたりすることがあります。
- ディスプレイやスタイラスペンのペン先にほこりや油などの汚れが付着したときは、スタイラスペンを使わないでください。ディスプレイやスタイラスペンの先に異物が付着していると、ディスプレイが傷ついたり、正しく使用できなくなることがあります。使用する前にディスプレイとスタイラスペンの先を清掃してください。
- スタイラスペンに無理な力をかけないでください。ディスプレイが破損したり、スタイラスペンの先が破損したり劣化したりすることがあります。



## 各部の接続方法

### ■PIN入力補助シート（別売品）について

本機にPIN入力補助シートを取り付けると、ボタンを押して暗証番号を入力することができます。

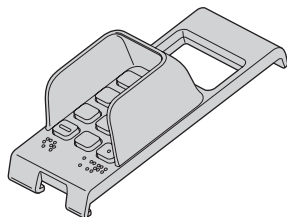
PIN入力補助シートを使用するためには、対応するアプリケーションが必要です。

対応するアプリケーションについては、購入先にお問い合わせください。

- PIN入力補助シートは消耗品です。

#### 構成品

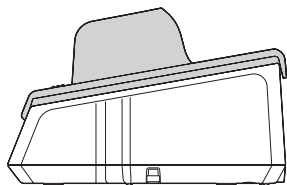
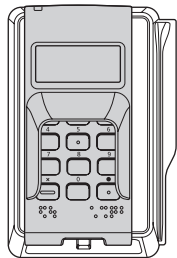
PIN入力補助シート



#### 取り付けかた

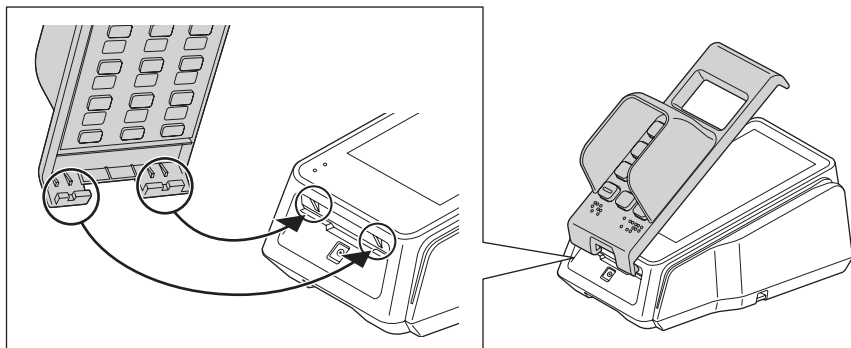
- 取り付ける前に、PIN入力補助シートに改造された形跡がないかを確認してください。異変がある場合は使用せず、購入先にお問い合わせください。
- PIN入力補助シートは無理に取り付けしないでください。本機やPIN入力補助シートが破損することがあります。
- PIN入力補助シートや本機に異物や水滴などが付着している場合は、清掃してから取り付けてください。
- ディスプレイに保護シートが貼られている場合は、はがしてから取り付けてください。

<PIN入力補助シート取り付けイメージ>

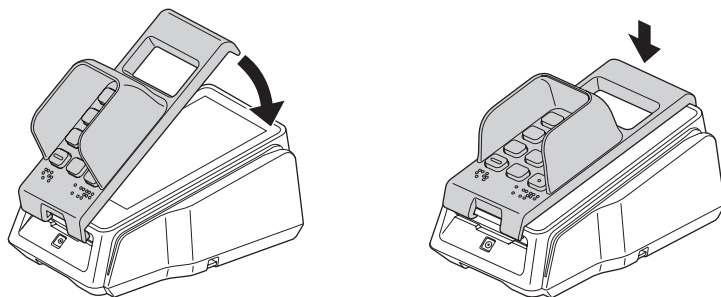


## 各部の接続方法

1. 本機の突起にPIN入力補助シートのくぼみを合わせます。

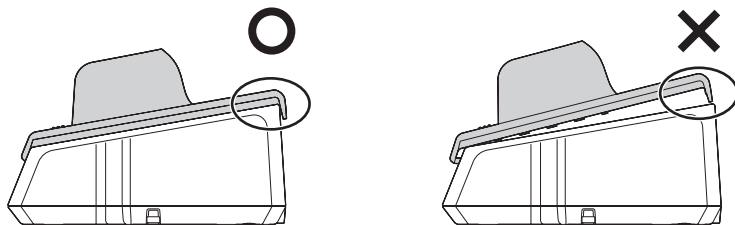


2. そのまま本機にかぶせるように取り付けます。
  - 指などははさまないように注意してください。



### ◆お願い

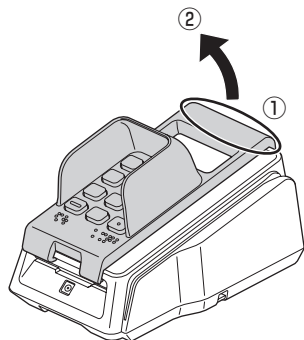
- PIN入力補助シートが本機から浮き上がっていないことを確認してください。暗証番号が入力できないときは、PIN入力補助シートが正しく取り付けられているかを確認してください。



## 各部の接続方法

### 取り外しかた

本機を押さえながら、PIN入力補助シートの上側(①)を持って、上に持ちあげます(②)。

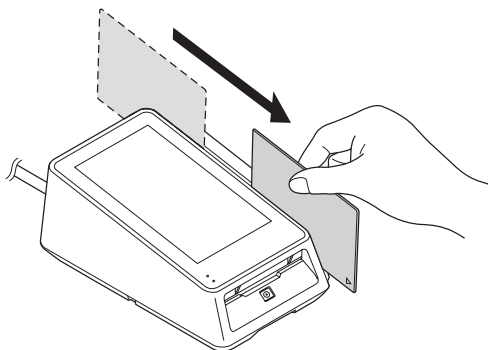
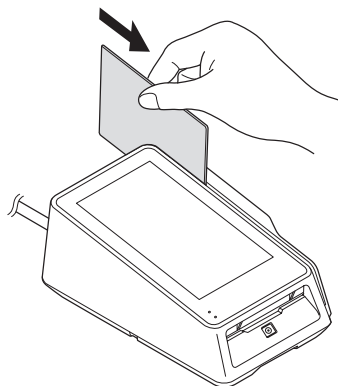


### ◆お願い

- 本機を移動する際に、PIN入力補助シートを持たないでください。
- PIN入力補助シートを保管するときは、上に物を置かないでください。PIN入力補助シートが変形したり、破損したりすることがあります。
- 暗証番号の入力について
  - ・ 暗証番号を入力するときは、指などが画面に触れないようにご注意ください。指などが画面に触れていると、ボタンで入力できないことがあります。
  - ・ ボタンを押すときは、ボタンの中心をまっすぐ押してください。ボタンを斜めに押した場合、入力できないことがあります。

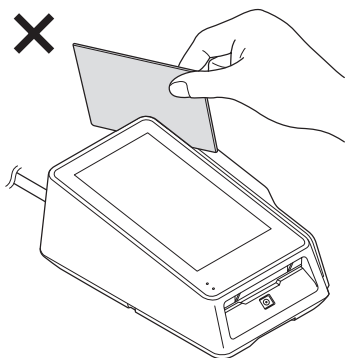
# 磁気カードの読み取り

- 1 磁気カードに表示されている矢印などのガイドの向きを確認し、磁気ストライプを下にしてカードリーダーの奥まで差し込みます。
  - カードを差し込むときは、カードリーダーから浮いたり、傾いたりしないようにしてください。
- 2 カードの下側全体をカードリーダーの奥に押し当てながら、一定の速度でまっすぐにスライドします。
  - 磁気カードリーダーの前後にカードのスライドを妨げるような物を置かないでください。

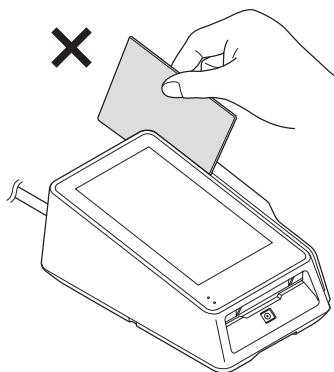


## ◆お願い

- 磁気カード以外は通さないでください。
- 水にぬれたカードを通さないでください。
- 割れているカードを通さないでください。
- カードは中央付近を持って、前後左右に傾けず、まっすぐにスライドしてください。カードがカードリーダーから浮いたり、前後左右に傾いていると、正しく読み取れない場合があります。



カードの端を持たないでください。  
カードを浮かせたり、前後に傾けないでください。

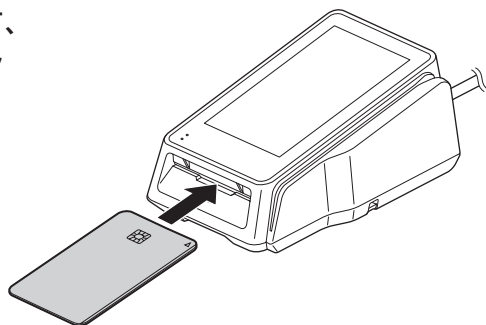


カードを左右に傾けないでください。

# 接触型 IC カードの読み取り

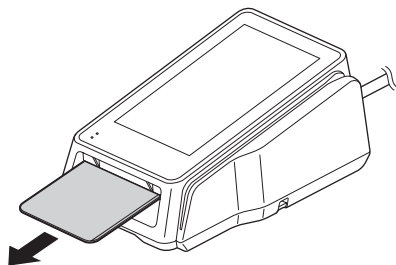
## 1 接触型 IC カードの接点部を上にして、接触型 IC カード挿入口に水平に差し込みます。

- 本体が動かないように押さえながら、カードを差し込んでください。
- カードがきちんと止まるまで差し込んでください。



## 2 処理が完了したら、カードを引き抜きます。

- 画面にカード処理完了のメッセージ（「承認されました」など）が表示されるまで、カードを引き抜かないでください。



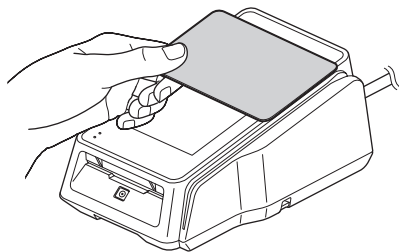
### ◆お願い

- 接触型 IC カード以外のものを差し込まないでください。
- 水にぬれたカードを差し込まないでください。
- 割れているカードを差し込まないでください。
- カードの汚れや接点の汚れは、ふき取ってからご使用ください。
- 接触型 IC カード挿入口に異物や汚れが付着しないよう、日々のご使用前に清掃してください。使用中に異物や汚れが付着したときは、直に取り除いてください。

# 非接触型 IC カードの読み取り／書き込み

- 1 非接触型 IC カードの中心（またはスマートフォンに印字されている FeliCa などのマーク）を、画面に表示されているガイド（FeliCa マークなど）の位置にかざします。

- 表示されるガイドはカードによって異なります。



## ◆お願い

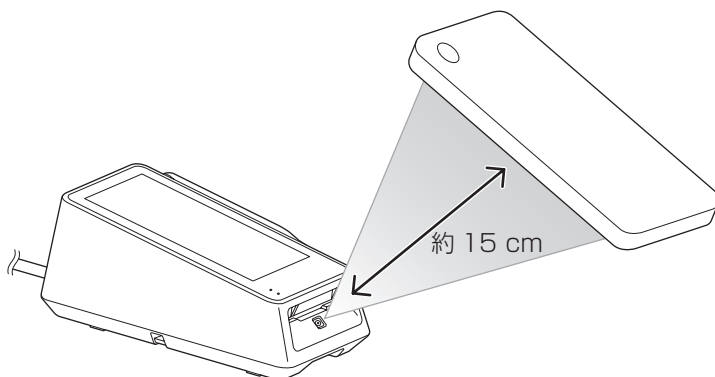
- スマートフォンをディスプレイなどに強くぶつけないようにご注意ください。
- 読み取り／書き込みができない場合は、カード（またはスマートフォン）の位置を少しずらしてください。
- ご使用になるときは、他の非接触型 IC カードリーダー／ライターから十分に離してください。カードが正しく読み取れない場合があります。

# バーコードの読み取り

バーコードまたはQRコードを読み取ります。

## 1 バーコードやQRコードの中心をカメラに合わせ、約15 cm離れた位置で、約1秒かざします。

- バーコードやQRコードがうまく読み取れない場合は、据置型業務端末 (JT-VT10 シリーズ) に表示される映像を確認しながら、お客様に正しいかざし位置を誘導してください。
- 音が鳴るまで、かざしてください。



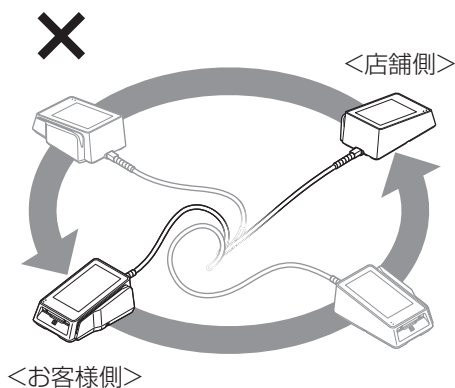
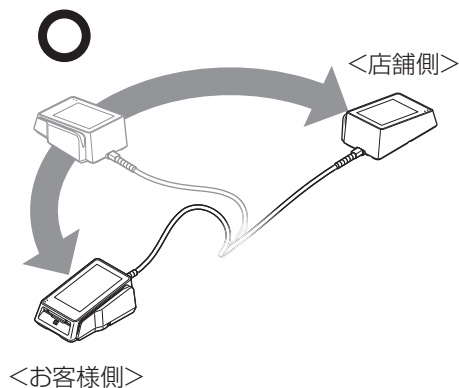
### ◆お願い

- 本機のカメラに照明が映らないようにして、ご使用ください。カメラに照明が映ると、バーコードやQRコードが読み取れないことがあります。
- バーコードまたはQRコードの読み取りは、決済を行うセンターの仕様により対応していない場合があります。購入先にお問い合わせください。

# 本機の動かしかたについて

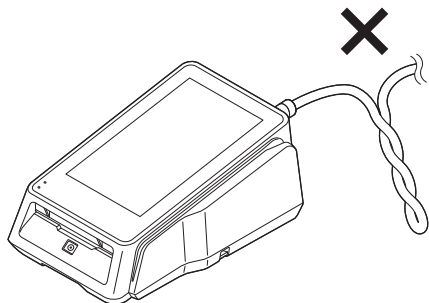
本機を動かした後、元に戻すときは、動かしたときと同じ側から戻してください。

- 反対側から回転させて戻すと、ケーブルのねじれや他の機器のケーブルとの絡まりの原因となります。



USBケーブルにねじれがないかを確認してください。

- ケーブルにねじれがある状態で本機を移動すると、ケーブルが引っ張られて負荷がかかり、断線する可能性があります。ねじれがある場合は、解消してください。また、他の機器のケーブルとも絡まないようにしてください。





# 困ったときには

本機をご使用中に、「おや？おかしいな？」と思ったら、以下の対処方法をお試ください。それでも現象が変わらない場合は、購入先にお問い合わせください。

## ■電源

| 現象                                      | 考えられる原因                                    | 対策                                                                                     |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 給電表示ランプが点灯しない                           | USBケーブルが据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）に正しく接続されていません。 | USBポート1に正しく接続し直して、据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）を再起動してください。<br>USBポート2に接続した場合、本機は動作しません。（→14ページ） |
| 画面にPanasonicロゴが繰り返し表示される                | 動作に必要な重要データが消失しています。                       | 内蔵電池が消耗し、動作に必要な重要データが消失した可能性があります。（→7ページ）<br>購入先にお問い合わせください。                           |
| 据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）で操作しても、本機の画面が表示されない | USBケーブルが据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）に正しく接続されていません。 | USBポート1に正しく接続し直して、据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）を再起動してください。<br>USBポート2に接続した場合、本機は動作しません。（→14ページ） |
|                                         | 動作に必要な重要データが消失しています。                       | 内蔵電池が消耗し、動作に必要な重要データが消失した可能性があります。（→7ページ）<br>購入先にお問い合わせください。                           |

## 困ったときには

### ■ディスプレイ

| 現象                                 | 考えられる原因      | 対策                                                                                  |
|------------------------------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| タッチパネルが操作できない<br>タッチパネルが意図しない動作をする | 電源が入っていません。  | 据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）の電源を入れてください。                                                    |
|                                    | エラーが発生しています。 | 一度据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）の電源を切ってから、再度電源を入れてください。<br>● 通常の方法で電源が切れない場合は、購入先にお問い合わせください。 |

### ■その他

| 現象                                    | 考えられる原因                 | 対策                               |
|---------------------------------------|-------------------------|----------------------------------|
| 磁気カードの読み取りができない<br>接触型ICカードの読み取りができない | 使用できないカードの可能性があまりありません。 | 本機で使えるカードかどうか確認してください。（→27ページ）   |
|                                       | カードが汚れています。             | カードの汚れをふき取ってください。                |
|                                       | 周囲に強い電磁波がある可能性があります。    | 強い電磁波のあるところから離して使用してください。（→8ページ） |
| 非接触型ICカードの読み取りができない                   | 使用できないカードの可能性があまりありません。 | 本機で使えるカードかどうか確認してください。（→27ページ）   |
|                                       | 周囲に強い電磁波がある可能性があります。    | 強い電磁波のあるところから離して使用してください。（→8ページ） |

# 仕様

本製品（付属品含む）は日本国内仕様です。このページには基本モデルの仕様を掲載しています。

| 項目                                    |           | 仕様                                                       |
|---------------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------|
| ディスプレイ                                | 表示方式      | TFTカラー液晶                                                 |
|                                       | 表示色       | 16 777 216色                                              |
|                                       | 画面寸法      | 4.0型                                                     |
|                                       | ドット数      | 800 ドット×480 ドット <sup>*1</sup>                            |
| タッチパネル<br><sup>*2</sup> <sup>*3</sup> | 方式        | 静電容量方式                                                   |
|                                       | 入力数       | シングルタッチ                                                  |
| 磁気カード<br>リーダー                         | 対応カード     | JIS I型（第1・第2トラック）<br>およびJIS II型                          |
|                                       | 操作方式      | 手動走行式                                                    |
| 接触型ICカード<br>リーダー                      | 対応カード     | ISO/IEC 7816規格準拠接触型ICカード                                 |
|                                       | 操作方式      | 手動挿入、手動排出                                                |
| 非接触型ICカード<br>リーダー／ライ<br>ター            | 対応カード     | ISO/IEC 14443（TypeA / TypeB）<br>規格準拠非接触型ICカード および FeliCa |
| カメラ                                   | 画素数       | 500万画素                                                   |
|                                       | 読み取り可能コード | Code128（GS1-128）、NW-7、<br>QRコード                          |
| スピーカー                                 |           | モノラルスピーカー                                                |
| セキュリティ                                |           | 耐タンパー機能あり <sup>*4</sup><br>PCI PTS規格対応                   |
| 電源                                    |           | 専用USBケーブルから給電（据置型業務<br>端末（JT-VT10シリーズ）と接続）               |
| 消費電力                                  |           | 約7.5 W<br>（据置型業務端末（JT-VT10シリーズ）の<br>電源を切っているとき 約0.15 W）  |
| 外形寸法（幅×奥行き×高さ）                        |           | 約86 mm×128 mm×56 mm（USB<br>ケーブルを除く）                      |
| 質量                                    |           | 約420 g                                                   |

## 仕様

| 項目   |     | 仕様 |                    |
|------|-----|----|--------------------|
| 環境条件 | 操作時 | 温度 | 0℃～40℃             |
|      |     | 湿度 | 20%～80% RH（結露なきこと） |
|      | 保管時 | 温度 | -10℃～60℃           |
|      |     | 湿度 | 20%～80% RH（結露なきこと） |

● 本製品の仕様およびデザインは予告なく変更することがあります。

- ※1 本機に搭載している液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、一部のドットが点灯していなかったり、常時点灯していたりする場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※2 手袋をしたまま操作したり、ぬれた手で操作したりしないでください。
- ※3 タッチパネルにはシートなどを貼り付けしないでください。タッチパネル誤動作の原因となります。
- ※4 改造・改ざんされるなどのセキュリティ異常を検知する機能です。タンパー検出後、復旧するためには当社指定場所での作業が必要です。

---

## パナソニック コネクト株式会社

〒540-8553 大阪府大阪市中央区城見2丁目2番33号

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2022

DHQP1097YA/J1  
F0122-1062